



本誌は、県民の皆様には山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、
当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>>「こどもの読書週間記念イベント2015」実施報告

山梨県立図書館では、「子ども読書の日」（4月23日）、及び「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）にあわせ、4月22日（水）から5月12日（火）まで、「こどもの読書週間記念イベント2015」を開催しました。子どもたちには本のすばらしさや読書の楽しさを伝えるとともに、保護者をはじめとする大人の方にも、子どもの本に対する理解や関心を深めてもらうため、毎年実施しているものです。期間中は、推薦図書の展示や展示図書を使ったおはなし会を開催しました。

推薦図書の展示では、冊子『こどもにすすめたい本2015』に掲載されている図書110冊を対象別に展示しました。この冊子は「最近出版された本の中で、子どもの年齢に合ったよい本を知りたい。」「学校図書館で本を購入する時の参考情報がほしい。」といった声に応え、前年1年間に出版された本の中から、県内の市町村立図書館等の職員が選び紹介しているものです。幼児、小学生低・中・高学年、中学生・高校生の対象別に各20冊（中学生向けは30冊）を紹介しています。

展示期間中は、実際に本を手にとって家族で話しながらページをめくったり、借りたい本に予約をしたり、冊子を見ながら気になる本をチェックしている大人の姿もありました。

さらに、期間中は「とことこおはなし会『こどもにすすめたい本』バージョン」を開催しました。この冊子に掲載されている図書による読み聞かせを行いました。子どもたちはもちろん、大人の方々もとても楽しんでくれたようです。冊子は、児童資料コーナーで配布しています。また、ホームページからもご覧いただけます。



▲推薦図書の展示の様子



▲ティーンズコーナーの展示の様子

また、本イベントの展示期間に合わせ、ティーンズコーナーでは「原作本をチェック!」と題し、関連展示を行いました。中学生・高校生が本に対する興味を持ち、気軽に手に取ってもらう機会となるよう映画やドラマ化などメディア化された話題の図書を展示しました。さらに、県内出身、在住、ゆかりの作家の本も紹介しました。

こちら、中学生、高校生だけでなく、多くの方々が本を手にとってご覧になる姿が見られました。

>>第1回子どもの読書活動推進スキルアップ講座を開催しました。

5月21日（木）に「絵本—豊かなことばと絵の世界—」と題して、NPO法人山梨子ども図書館理事の宮崎さなゑ氏を講師に講座を実施しました。図書館司書や学校司書、保育士など54名の参加がありました。

まず初めに、絵本の役割についてご説明いただきました。本を読むということは、豊かな言葉を積み重ねる経験であり、子どもの側にいつも本が置いてある環境作りが大切であるということ、絵本は子どもが初めて出会う本であり、大人に読み聞かせをしてもらう中で、子どもは本や言葉への信頼を培っていき、耳からの読書を体験するということなどを、豊富な事例を交えて説明いただきました。

続いて、絵本の選び方について、実際の絵本を例に挙げながらお話していただきました。子どもは「知っている」ということがうれしいので繰り返しのある本を好み、耳で聞いて無理なくストーリーを追える本、日本語のリズムが楽しい本を選書するとよいとのことでした。

また、毎年たくさんの絵本が出版されていますが、まずはブックリスト等を利用し、評価が高く、長年子どもたちに支持されてきた古典を核に選び、学ぶことが大切であること、そのような絵本は、無理なく子どもたちを物語の世界へ誘う力があり、言葉やリズムが美しく、挿絵は特徴をよくおさえてお話のなかに存在しているものだと説明いただきました。

最後に、現場で子どもたちに読み聞かせをしている経験から、子どもに本を手渡す際には、次の読書へといざなうような本を選び、その方法も考えていかなければいけないとお話いただきました。

参加者からは、「絵本のすばらしさを改めて実感した。」「実例を交えた話でとてもわかりやすかった。今後の仕事に役立てたい。」等の感想が寄せられ、大変好評をいただきました。講座で学んだ内容を実践し、子どもと共に絵本の世界を楽しみ、一人でも多くの子どもの本と本が出会うきっかけに役立てていただければと思います。



▲絵本の魅力について話す講師

>>平成27年度児童青少年サービス講座中級編の実施予定の紹介

子どもの読書活動推進にあたり、助言や指導を行う人材を育成するため、理論と実践力を学ぶ講座を開講しています。県内の公共図書館等で児童・青少年サービスを担当して3年以上、または、学校図書館等に勤務して3年以上の方を対象とした専門理論と実践力を学ぶ研修です。

今年度は、「子どもの本の読み方と伝え方を身に付ける」を全体テーマに、以下の連続講座を予定しています。児童青少年サービスの現場で役立てていただけるよう、事前課題やグループ演習など実務に即した内容を学んでいただきます。

なお、今年度の受講者の募集は終了していますが、講座の内容については、本センターニュースにて報告していく予定です。

※全体テーマ「子どもの本の読み方と伝え方を身に付ける」

第1回（7月28日）「子どもの本の紹介文の書き方（子ども向け・大人向け）」

第2回（9月10日）「蔵書を活かすブックトーク」

第3回（10月23日）「いま、子どもの本をつくる・届ける

—児童図書の編集・出版—

第4回（11月19日）「最近の子どもの本の動向」

第5回（12月17日）「子どものための図書館の使命と役割を考える」

—国際子ども図書館の児童サービス—